



横須賀市自然・人文博物館 メールマガジン 2018年12月27日号



企画展示「初公開！仏国メラング家で見つかった横須賀製鉄所資料」開催中！
年末年始は12月29日（土）から1月3日（木）まで休館します。

◆学芸員自然と歴史のたより◆

JAMSTEC 無人探査船による相模湾の深海調査

当館では、国立研究開発法人海洋研究開発機構 JAMSTEC の協力で、「JAMSTEC 撮影による日本近海の深海生物パネル展」を2019年1月14日まで開催中です。

JAMSTEC の海洋研究では、有人潜水調査船「しんかい6500」や地球深部探査船「ちきゅう」などの船が用いられます。

当館学芸員も、JAMSTEC の調査航海に参加することがあります。

私は2008年と2010年に相模湾の調査航海に参加しました。

この航海は JAMSTEC 広報課が主体となり、相模湾周辺の博物館や水族館の職員が参加しました。

相模湾の地形地質や深海生物を調査し、その成果を一般の方々に広く紹介することが目的です。

名づけて KO-OH0-0 (Key Observation and Outreaching of the Hidden Ocean and Organisms) の会です。

2回の航海で用いられたのは3,000m級無人探査機「ハイパードルフィン」とその母船である海洋調査船「なつしま」です。

「ハイパードルフィン」は超高感度ハイビジョンカメラや、岩石や生物を採取できるマニピュレータ（ロボットアーム）を備えています。

「ハイパードルフィン」の操縦はオペレーターが行い、私たち研究者はモニターに映し出された海底の映像を記録したり、採集された資料の整理や分析を行ったりしました。

なお、「なつしま」は2016年に退役となっています。

2008年は初島沖、伊豆熱川沖、小田原沖、相模湾中央部（相模海丘）で、2010年は相模湾

中央部（三浦海底谷～相模海丘）、城ヶ島沖（東京海底谷）で潜航調査を行いました。
2008年の航海では、初島沖の水深1,172 mでシロウリガイ類などからなる化学合成生物群集や、伊豆熱川沖の水深900～1,000 mで海底溶岩流などを確認しました。
2010年の三浦海底谷と東京海底谷の潜航では、水深約1,100～600 mで堆積岩の地層や、ウルトラブクやナマコのなかまなどの深海生物を観察しました。
私は通常、陸上の地層を調べたり観察したりしていますが、相模湾の海底の地層や岩石、深海生物は大変興味深いものでした。
三浦半島の地層の大部分は深海でつくられたと考えられていて、シロウリガイ類の化石も見ついています。
三浦半島やその周辺地域の地質や生い立ちを理解するために、相模湾の深海の調査はとても大切だと感じました。
（地球科学担当：柴田）

URL: <http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/archives/news/26372>

◆ 展示情報 ◆

企画展示「初公開！ 仏国メラング家で見つかった横須賀製鉄所資料」

2019年3月24日（日）まで

フランスに伝わった新規収蔵資料を一堂に展示！

日仏交流160周年目にあたる2018年、博物館では、フランスに残されていた横須賀製鉄所の貴重な資料を新たに収蔵しました。

資料は、横須賀製鉄所のフランス人製図工長メラングの子孫に伝来したものです。

メラングは、日本初の洋式灯台である「観音埼灯台」の製図を担当した重要人物で、部下の製図工バスティアンは、「世界遺産富岡製糸場」の設計に関わりました。

幕末・明治の横須賀の写真や日記、図面など貴重なコレクションの数々をご覧ください。

おもなみどころ

☆幕末・明治の横須賀の写真！ 写真資料一式をパネル展示します。

☆むかしの地図！ 東京湾沿岸部の古地図に横須賀の地名がたくさん登場します。

☆文献資料群！ メラングの横須賀製鉄所の名刺や文書、日記など。

【関連行事】

展示解説 2019年3月9日(土) いずれも13:00~14:00 本館特別展示室 参加自由
フランスから収集した各資料を学芸員とともに鑑賞します。

URL: <http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/archives/exinfo/25325>

トピックス展示「さよなら平成展」

2019年1月12日(土)~2019年5月6日(月)

残りわずかとなった「平成」を振り返るため、貴重な博物館資料だけでなく、新聞や書籍、コンピュータや玩具などの身近な商品を10点ほど展示します。

URL: <http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/archives/exinfo/26397>

トピックス展示「新着標本 2019」

2019年2月2日(土)~2019年3月10日(日)

博物館では毎年、採集や寄贈によって多数の資料を受け入れています。

「新着標本 2019」では、今年度に新しく受け入れた標本や、新しく分類・整理を終えた標本など、さまざまな分野の未公開の標本のうち、よりすぐりの一部について紹介します。

URL: <http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/archives/exinfo/26399>

海洋研究開発機構(JAMSTEC)によるパネル展~日本近海の深海生物パネル展~
2019年1月14日(月)まで

横須賀市内に本拠地を置くJAMSTEC(海洋研究開発機構)の協力により、

これまで日本近海の深海で潜水調査船や深海探査機によって撮影された深海生物の写真や映像を、
写真パネルとビデオ上映によって紹介します。

URL: <http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/archives/exinfo/26352>

トピックス展示「イノシシ・猪・亥年」

2019年1月27日（日）まで

平成31（2019）年は亥（い=いのしし）年です。
干支にちなんでいろいろなイノシシの写真や標本、
横須賀市内の貝塚から出土したイノシシの骨、
イノシシに関連した名前の生き物などを紹介します。

URL: <http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/archives/exinfo/26337>

◆イベント情報 ◆

天神島ガイドツアー（1月）

2019年1月27日（日）

申込不要。天神島臨海自然教育園内の動植物や景観などの見どころを紹介します。

URL: <http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/archives/event/25401>

発行：横須賀市自然・人文博物館

本メールは送信専用アドレスから配信されています。

このまま返信いただいてもお答えできませんのでご了承ください。

このメールの無断転載を禁止します。

登録内容の編集・解除は下記より行ってください。

<http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/mailmagazine/entry>